

感染症発生状況

令和8年8月13日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和8年8月3日（月）～8月7日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,502名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】531名 【職員】2名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】106名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（193名）、咳鼻水（84名）、発疹（47名）、下痢腹痛（26名）

疾病別：手足口病（174名）、ヘルパンギーナ（35名）、インフルエンザ（8名）

【職員】症状別：熱（1名）、発疹（1名）

疾病別：ヘルパンギーナ（2名）

**手足口病とヘルパンギーナの流行が続いています。
皆様、引き続き手洗い励行お願いします。**

【疾病別の発生状況】

手足口病	玉山地区、盛南地区、河南地区、都南地区で増加しました。 厨川地区、河北地区で減少しました。
ヘルパンギーナ	盛南地区、河南地区、都南地区で増加しました。 厨川地区、河北地区で減少しました。
インフルエンザ	厨川地区で増加しました。河南地区で減少しました。

【県の状況（7/27～8/2）】

手足口病の定点当たり患者数は増加し、12.81人となりました。大船渡、久慈地区を除くすべての地区で警報値（5.0人）を超えています。本症は口の中や手足に水疱を伴う複数の発疹が現れます。子供を中心に主に夏に流行するウイルス感染症です。飛沫感染、接触感染、糞口感染で広がります。乳幼児が集団生活をする保育施設や幼稚園では特に注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いの励行、タオル等の共用を避ける、おむつ交換時等の排泄物の適切な処理が有効です。

夏風邪といわれる手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の定点当たり患者数が、いずれも前週より増加しています。原因はコクサッキーウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスで、発熱や発疹、咽頭痛、結膜炎などの症状を伴います。これらの感染症は主に飛沫感染・接触感染により広がるため、予防には丁寧な手洗いと咳エチケットが欠かせません。加えて、手指消毒や共有物のアルコール消毒等、日常的な衛生管理も忘れずに行いましょう。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者数は増加し、0.43人となりました。本症は夏と冬に患者数が増える傾向にあるため、注意が必要です。今後も手洗いや咳エチケット、換気等の基本的な予防対策をしましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】